

仮称杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校及び併設1施設建設改築工事

杉並区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に 関する条例に基づく説明会議事録（要旨）

開催日時・会場

平成24年12月26日（水） 午後7時～8時

区立和泉中学校 視聴覚室

出席者

近隣住民4名

和泉中学校副校長

営繕課長、学校整備課長、営繕係長、防災課地域防災係長、児童青少年課計画調整担当係長、学校支援課計画調整担当係長、学校整備課教育施設計画係長、教育施設計画係担当職員（3名）、営繕課職員（2名）

設計業者（株式会社 日本設計）3名

議事

1. 副校長・区職員・業者紹介、挨拶
2. 説明（別紙資料参照）
3. 質疑応答

Q:朝早くから夜遅くまで工事をするのか。神田川の河川改修工事の騒音がすごかったので配慮をお願いしたい。特に迷惑がかかる神田川側の住民たちと話し合いをして欲しい。

A:具体的な工事時間については、工事業者が決定してから改めてご説明します。工事車両については、東京都が神田川に設置する仮設構台をできるだけ利用しますので、交通騒音を極力抑えるように配慮しています。学校周辺は、スクールゾーンの車両の時間規制があるため、基本的に早朝から工事をすることはありません。工事関係者は子どもたちが通学する前に入場し、現場内でエンジンの空ふかしをしないなど注意したいと考えております。

Q:日大鶴ヶ丘高校の防球ネットが高く、現在電波障害が起きている。この工事で電波障害は起きないか。

A:電波障害は起きないと想定していますが、起きた場合は万全を尽くして対応いたします。

Q:小学校の敷地内になぜ現場事務所を設置するのか。（財）オイスカの隣に水道局の空き地があるので、その場所を借りて事務所を設置するべきだ。教育観点から言って学校の敷

地内に現場事務所を設置することはありえない。校庭内に現場事務所を置くのは絶対賛成できない。

A:現時点では、敷地内に現場事務所を設置する考えであります。敷地に余裕がなく設置できない場合を除いて、敷地の中に現場事務所を設置して作業員の休憩室や施工・監理の事務所として利用しています。施工者に対して風紀保持についての指導を徹底させ、現場事務所が子どもたちへ悪影響を与えるようなことがないよう充分管理いたしますので、ご理解いただきたいと思います。これまで、他の学校改築時でも現場事務所が学校運営上問題となったことはありません。本日は、意見として持ち帰らせていただきたいと思います。

Q:子どもの動線から設計をしているのか。高井戸小学校など最近改築した小学校の校舎や授業の見学をしたが、子ども同士ぶつかる危険が大きいのではないかとくに小学1年生の体力と中学3年生の体力は全く違うため、想定外では済まされない。

A:基本計画の段階から、子どもの動線について検討協議会や設計事務所、教育委員会などと協議をまいりました。校庭も小学校低学年が主に利用するエリアを分けて設けており、教室の配置も分けています。小学1年生と中学3年生の体力は全く違うため、校舎の中外での活動について、充分検討した計画となっております。

Q:高井戸小学校の体育館の屋上緑化部分にぺんぺん草が生えていた。

A:区は、緑化基準に基づいて植栽計画に力を入れています。屋上緑化により、夏場の体育館の温度を下げて、省エネをはかり、自然環境に配慮した学校づくりをすすめております。

竣工後の屋上緑化の維持・管理については、学校や教育委員会と連携して、対応していきたいと考えております。

Q:通学路について。いまは神田川沿いの歩道が通れなくなっている。もう1本先の龍光寺の下の道路を使っているが、朝はこの道路が自動車の抜け道になっている。町会の人間が出て行っているが、あの通学路は大人でも通るのが怖い。それなのに誰も立っていない。だから、そちらから通学する生徒は、90番の遊び場を通っている。

工事の際は、安全対策を行っていただきたい。町会では面倒見切れない。

井の頭通りから龍光寺の前に抜けている階段とスロープは、傾斜が急でお年寄りでは上がれない。自転車も通り、幅が狭い。特に、ベビーカーを押している人がかわいそうだ。

事故が起きないうちに何とかしてほしい。この前けがをした子がいた。

A:この道路は、従前から甲州街道の方向へ向かう抜け道になっています。道路の安全対策と水道道路からの階段のバリアフリー化は、杉並区として対応していかなければならないと考えております。通学路の安全対策は、教育委員会や土木事務所など幅広い部署を通して、時間をかけて対応しなければなりません。水道道路からの階段については、東

京都との協議が必要となりますので、意見を持ち帰らせていただきます。

Q:今ある木は、神田川のほうへ移植するのか。

A:現在敷地内にある樹木は、できるだけ残すよう計画しています。

Q:景観を良くして欲しい。

A:樹木の緑が映えるように外壁の色やデザインを決めていきたいと考えています。神田川沿いの風景を大切にしたい建物づくり、樹木が映える景観づくりをしたいと考えております。

Q:地面の高低面は現状のままか。以前、神田川がオーバーフローしてしまい、にわとりやモルモットなどがいなくなってしまうがそういうことはないのか。

A:校庭などの地面の高さは、現状と変わりません。ご承知のとおり、浸水対策の一環として現在、東京都が神田川の河川改修工事を進めています。最近では、ゲリラ豪雨なども多いため、この河川改修工事によりこの地域が完全に浸水しないとは言えないのが現状です。河川改修工事と併せて、今回の校舎改築により水害に対する安全性を向上させたいと考えております。

Q:屋上の手すりは外が見えないように斜線になっているのか。まっすぐにした学校はあとで直したと聞いているがどうなのか。

A:縦の柵にする予定です。横や斜めの柵にすると足掛かりとなり、子どもが登ることができてしまうため安全上問題があります。近隣のマンションに近い校舎で、家の中が見られるということから手すりを直したケースがありました。